

一般質問

聞いてみたいな、こんなこと

本定例会での一般質問は、3月11日から3月13日までの3日間行われ、15人の議員が、26項目について質問しました。その質問と答弁の要旨をお知らせします。

一般質問とは？
議員が市の仕事全般について、市長などに報告や説明を求めたり、将来の方針等について質問することをいいます。
一般質問は、各定例会の本議会で行われます。

松原 敏雄
議員

観光振興を産業の柱として位置付けては

協議していく



観光資源である秋川渓谷

問 観光の振興について
市長は、施政方針のなかで観光資源の開発や広域的な観光まちづくりを推進する旨を述べている。東京都に於いても、平成20年度予算の観光に関して34億円が計上されている。そこで以下何う。

① 観光振興の方向性は、市の産業の一つの柱として認識し、位置付ける時期にあるのではないか。
② 東京都の支援策の具体

的な利活用は。
③ 最大の観光資源である清流の保全について、清流保全条例を持つ本市が、広域の中でリーダーシップを取るべきと思うがいかがか。
環境経済部長

① 観光客は、滞在型の需要がかなり高いと感じられ、今後、協議会の中でもその方向にもっていくか協議していきたい。
② 平成20年度には、あき

る野市、日の出町及び檜原村との広域連携推進協議会を立ち上げ、東京都の100%負担でスーパーアドバイザーの派遣を要請し、資源活用の調査などもお願いしたい。
市長

③ 観光の対象イコール環境だと思う。一市だけでできるのではなく、日の出町、檜原村とも十分連携を取りながら、東京都と観光環境及び都市整備を含め、強い連携を取っていきたい。

青木 豊
議員

都道165号線の延伸は

最重要の事業として東京都に働きかける

問 市の道路網の形成は、都道を中心に飛躍的な進展を遂げている。秋3・3・9号線の氷沢橋まで、秋川南岸道路の秋川街道まで等が平成19年度中の完成を目指して進められている。しかしながら、道路網の形成に必要な不可欠であり、緊急の課題となっている区間で、事業化の目途が立っていない

い道路もある。今後の整備方針について市の考えを伺う。

① 都道165号線の拡幅整備が引田上で止まっている。秋3・5・2号線までの延伸は。
② 不足する南北ネットの中で東京都が施行する秋3・3・9号線の秋3・3・3号線までの間は。

市長
① この路線は途中で止まっていて道路の体をなしていない路線であり、最重要の都道の事業として東京都



都道165号線

に働きかけていきたい。

また、今のある野市の財政では幹線道路を整備する財源の確保が困難であり、都道を優先的に整備することで、まちの骨格を作りたいと考えている。
都市整備部長
② いなげや草花店前から主要地方道7号線までが第2次事業化路線であり、高瀬、平沢及び二宮地区では地元の方々の協力や強い要望もあり、平成20年度は5億3千万円の事業費を計上して早期供用開始に向け進められている。

山根 トミ江
議員

交差点の安全対策は

研究していきたい

問 永田橋周辺の環境対策と学童の安全対策について

永田橋架け替えに伴う仮設橋が完成した。今後の環境対策と学童の通学路の安全対策について問う。

① 河川敷の汚泥の撤去計画はどのようになっているか。引き続き関係機関に働きかけを行なうべきと思うがどうか。
② 羽村大橋から多摩橋までの間に遊歩道の整備ができるよう関係機関に働きかけを。
③ 秋3・4・6号線（永田橋～氷沢橋間）の歩道拡幅の今後の予定は。
④ 永田橋周辺の交差点の安全対策は万全か。

環境経済部長
① 国土交通省京浜河川事務所の指導により、平成16年10月には約4万立方メートルだったが、19年8月には約3万立方メートルまで減少している。

市長
① これから更に積極的に



永田橋西側交差点

要望活動をしていきたい。

② どういう角度から整備できるか、研究する必要がある。その後に要望し、努力をしていきたい。

都市整備部長
③ 東京都では、永田橋完成の平成23年に合わせて逐次進めていくとのことである

る。

学校教育部長
④ 保護者、PTA、地域の協力といった視点から研究していきたい。

他に、市民健診の充実と後期高齢者医療制度について質問した。



田中 千代子
議員

市のがん検診受診率向上推進計画は 予防施策を進めていく

問 がん検診受診率の向上について
我が国は、がん大国と言われ、2人に1人が、がんに罹り、3人に1人ががんで亡くなると言われている。死亡率減少と医療費抑制の近道は早期発見、早期治療であり、本市においても受診率向上のため、積極的な取り組みを求め質問する。

① 当市のがん検診受診率

(胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳がん)、周知方法の現状と課題は。
② 東京都のがん対策推進計画案は平成20年度から5年間で受診率50%を目指すとしている。受診率向上のためには、当市の推進計画が必要ではないか。

福祉部長

① 平成18年度の受診率は、胃がん14・3%、肺がん16・4%、大腸がん14・4%、子宮がん13・1%、乳がん16・0%で、早期発見・予防という面からは高い受診率とは言えない。今後は、

受診率の向上を図る観点から、がん検診の重要性について周知するとともに課題を整理し、申込みしやすい方法等を検討していきたい。
② 予防という面から、医療機関などと連携して、がん検診率の向上に取り組むことは非常に重要と認識している。区市町村にも計画が必要になると思うが、当面「めざせ健康あきる野21計画」を基本に東京都の計画も活用して、がん予防施策を進めていく。

他に、「るのバス」の改善について質問した。



市民がん検診

問 安心安全まちづくり待機児童の解消について
① 国における「新待機児童ゼロ作戦」など児童福祉法と次世代育成支援対策推進法の改正の動きの中で、市として平成20年度の待機児



市民プール・市民球場

② 市民施設である市民プール・市民球場の水洗化について
ア・現在の処理方法は、イ・水洗化で公衆衛生の

子育て支援・児童担当参事
① 現在、入所申込の受付中で、待機児童数は把握できていない。また、待機児童の解消や質の向上に向け、草花保育園の老朽化に伴う建設事業の補助金交付事業など3事業を実施していく。
都市整備部長
② ア 汚水などは、貯留槽に流し、汲み取り処理を行っている。
社会教育部長
イ 下水道接続は、平成25年の東京国体に向けた施設整備に併せて検討する。また、想定する上下水道料金の負担も(水道・下水道合わせて料金は概ね775万円)考えながら継続したい。



澤井 敏和
議員

市民プールの水洗化は

平成25年の東京国体に向け検討

向上と公共水域の水質保全を率先して進めるべきと考えるが、いつ水洗化になるのか。また、現在の下水を処理する財政負担は不可能なのか。

堀江 武史 議員
ISO14001の今後の取り組みは
自己宣言方式に移行する

問 ISO14001について

あきる野市では、地球環境問題に積極的に取り組み、市役所では、ISO14001を平成14年に認証取得をしたが、以下について伺う。

① これまでの取り組み状況と成果について。

② 今後の取り組みの中でISO14001の認証取得をやめ、自己宣言をしたらどうか。

総務部長

① 認証取得後は、省エネルギー、省資源、廃棄物の減量、再資源化及び環境に配慮した公共工事などの取り組みを行った。また、環境負荷事業の成果としては、平成13年度の認証取得前に比べ、18年度では電力使用量10・4%、水使用量7・1%、庁用車燃料使用量10・9%、廃棄物排出量7・8%、紙使用量9・0%とそれぞれ削減の成果が上がっている。

② これまでの取り組みで職員の環境管理のノウハウも取得できており、登録の更新は行わず自己宣言方式に移行し、経費（概ね一年間で75万円）の削減に努め

ると共に、更なる環境改善を目指す考えである。

他に、多摩産材の活用、防災について質問した。



ISO14001認証取得の横断幕

増戸地区伊奈宿通りの活性化を

地域の方々の協力が不可欠である

合川 哲夫 議員

問 市内の商店街の活性化対策について

市長の施政方針に重点地域を秋川駅北口商店街、五日市地区商店街、養沢地区の活性化を打ち出している。そこで以下に問う。

① 他にも原店商店街や増戸地区商店街などがあるが、これら地域の活性化対策がうたわれていない。その理

由は何か。また、「瀬音の湯」とその周辺地域の位置づけについてはどの様な考えか。

② 平成19年第1回定例会でも一般質問を行ったが、増戸地区伊奈宿通りを総合的デザイン手法で、歩きたくなる緑の町並み景観を取り入れた散策コース作りを行い活性化を図る。その様な地区計画はできないか。

環境経済部長

① 秋川駅北口商店街、五日市商店街の活性化は、施政方針の3つの力の内「地域経済力」の強化に向けた地域である。これまで実施してきた「東京都新・元氣



増戸地区伊奈宿通り

をだせ商店街事業」等については、引き続き商店街の活動に対して支援していきたい。また、「瀬音の湯」の周辺地域の活性化対策については、森林や河川などの自然とのふれあいを通じて、地域特性を生かした観光を推進していきたい。

② 昨年作成した観光パンフレットは、11の散策モデルコースを設定し紹介している。緑の町並み景観づくりには、地域の方々の協力が不可欠であり、十分な合意形成の中から地域にふさわしいルール作りを築きあげていただきたいと考えている。

戸沢 弘征
議員

東京都区市町村振興基金の活用を

さまざまな面で東京都の支援を求める

問 土地開発公社について
① 財政健全化の最優先として、土地開発公社の健全化の課題を解決すると施政方針で述べた。市長は、市政に大きな負担となった政策の失敗を反省し、市民に謝罪すべきだと思うがどうか。
② 国は、公有地の拡大の

推進に関する法律をつくり、自治体に土地取得を勧めた責任があり、国に対し援助を求めるべきと思うがどうか。
③ 土地開発公社の適正な運営を図るため、市議会議員が参画できるように定款の充実を求めるべきと思うがどうか。

④ 健全化促進のため利率の低い東京都区市町村振興基金の活用ができるよう、積極的に取り組むべきと思うがどうか。

市長

① 簿価総額縮減の取組みの中で、金利負担、売却補填措置等の財政負担が大きな課題であり、これらの解決が責務であると考えている。

企画財政部長

② 国が定めた「経営健全化対策」の財政措置などを活用しながら、国、東京都に財政支援策の更なる拡充を要望していく。

都市整備部長

③ 健全化に向けた取り組みの透明性、信頼度を高めるため、十分な配慮が必要であり、庁内プロジェクトの中で検討している。

企画財政部長

④ 基金の活用は、条件があり容易でないが、特別利率の適用のほか、さまざまな面で東京都の支援を求める考えでいる。



土地開発公社がもつ簿価 8 億 3585 万円の山

1人でも多くの方に参加いただく考えは

活き活きとした日常生活を維持できるよう支援していく

武 議員
御手洗

問 シルバーカラオケ教室について

社会福祉協議会事務局の協力のもと、十数年続いているシルバーカラオケ教室は、年々会員が増え、平成19年度は参加希望者が多く、ふれあいセンターの収容人員をはるかにオーバーし、抽選で参加者を絞って行なっている。抽選にもれた方

は、練習日の午後に行っているのが現状である。理想論では、参加者全員で行なえる会場は、キララホールであると思う。そこで、20年度は、一人でも多くの方に参加して頂くための考え方を伺う。

社会福祉協議会担当参事

① ふれあいホールについては、椅子の設置や機材の保管場所の確保ができること

や、多くの会員が参加しやすい場所にあることなどから、希望者の全員参加とふれあいホールの使用を前



シルバーカラオケ教室

提に全会員にアンケートを行った。大多数の会員は、午前と午後の2回の実施を望んでいた。現在、会員からの意見をまとめており、平成20年度の会員の募集を4月頃に行う予定でいる。今後も、約三百名の参加者が見込まれる教室であり、高齢者が健康的で生き生きとした日常生活を維持できるよう、支援をしていく考えである。

他に、行政力の強化、武蔵引田駅周辺地区土地区画整理について質問した。